

令和4年2月9日  
(2022年)

保護者の皆様

吹田市立千里丘北小学校  
校長 小林 大介

## 「千里丘北小学校についての学校アンケート」の結果報告について

立春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、昨年12月に行いました学校教育自己診断には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取組で、学校生活は変更を余儀なくされたことも多い中ご協力いただきありがとうございました。アンケートの集計及び結果の分析について、以下の通り、ご報告させていただきます。なお、アンケート分析から次の通り考察し、今後の学校教育に活かしていきたいと存じます。

### 1、評価の方法について

保護者の皆様に実施したアンケートは、①～⑫までの設問を「1.学校の教育活動に関するもの」⑬～⑲を「2.学校経営に関するもの」と分類しております。

アンケートを分析するにあたり保護者向けのアンケートにつきましては「そう思う」「どちらかというと思う」という回答を肯定的な評価として判断し、肯定的な評価が80%を超えるものを「概ね満足していただいている」と判断しております。

また、児童向けのアンケートでは低・中・高学年用に分けて実施いたしました。なお、保護者向けと同様に肯定的な評価が80%を超えるものを「概ね満足している」と判断しております。

保護者・児童の両アンケートにおいて80%未満のものにつきましては、特に今後の学校教育活動の中での工夫・改善点として判断しております。

### 2、アンケートの結果と考察

#### 【保護者】 回答571(無回答含む)

保護者の皆様対象のアンケートは「1.学校の教育活動に関するもの」と「2.学校経営に関するもの」の2つの部分で構成しており、この項では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の2項目を合わせたものを「肯定的回答」としています。

#### ○結果

多くの設問で肯定的回答が80%を超えましたが80%に満たなかったのは「教育活動に関するもの」の設問の中では「3.この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。」(77%)で、「学校経営に関するもの」の中では「16.学校では授業参観を通して、子どもの様子がわかるような機会を設けている。」(79%)「19.学校のサポートチーム活動やPTAの活動に参加したことがある」(54%)でした。いずれも新型コロナウイルスの影響で教育活動を外に向けて公開する機会

がなかったり、PTA活動も自粛していただいたりしていたことが反映しているものと考えられます。

昨年との比較で開きがあったのは前述の「16. 学校では授業参観を通して、子どもの様子がわかるような機会を設けている。」が86%→79%に減少しました。

## ○考察

学校行事をはじめとしたさまざまな行事はこの2年間、ほとんど取り組むことができませんでした。そのような中でも「7.運動会などの学校行事は子どもが楽しく意欲的に活動できるよう工夫されている」の項目での「そう思う」が51%(昨年度41%)と評価していただいたことは私たち教職員にとって励みになりました。この先、感染状況が好転し、徐々に取り組める活動の幅が広がってくれば、本来の特色のある教育活動を展開したり保護者の方にご参加いただいたりする機会も増やしていきたいと考えています。

多くの項目で90%を超える肯定的回答をいただいたことはありがたく考えております。保護者の方の願いと同じく、私たち教職員も一番願っていることは「1.子どもは学校に行くのを楽しみにしている」(89%)が100%になることです。今後もそのような学校を目指し、取り組みを一層進めていきたいと考えております。そのためには家庭と学校が車の両輪となり、同じ方向に向かって進んでいくことが大切だと思いますので、今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 【児童】

### 低学年 回答数364(無回答含む)

## ○結果

全体の概要として全15項目のうち、12項目については「概ね満足している」という回答がありました。「がっこうへいくのがたのしい。」「せんせいはわたしたちのいけんをきいてそうだんにのってくれる。」「じゅぎょうはわかりやすくてたのしい。」「せんせいはがんばったときほめてくれる。」「がっこうでのルールをがくしゅうしている。」「うんどうかいやえんそくなどのがっこうぎょうじはたのしい。」「がっこうではいのちのたいせつさやひとへのおもいやりをがくしゅうしている。」「がっこうではじけん・じしんやかさいなどがおこったときどうしたらいいかがくしゅうしている。」「がっこうにはよくあそんだりはなしたりするともだちがいる。」「こうちょうせんせいのおはなしはわかりやすい。」「じゅぎょうなどでコンピュータなどをがくしゅうしている。」「あゆみはわかりやすい。」といった項目は80%以上が肯定的回答をしていました。

「じゅぎょうでよくてをあげる。」「じゅぎょうでわからないことをせんせいにきける。」「がっこうでおうちのひとやちいきのひとといっしょにがくしゅうをすることがある。」の項目では肯定的回答が80%を下回る結果となりました。

## ○考察

「じゅぎょうなどでコンピュータなどがくしゅうしている。」の項目では昨年度を2%上回り、肯定的回答が多くみられました。1人1台のiPadが昨年度導入され、授業の中で日常的にiPadを活用する機会が

増えたことが理由であると考えられます。加えて、今年度はオンライン授業の実施もありました。今後も子どもたちの学びを止めることなく、より学びが深まる授業へとつなげていくために、iPadを活用した授業を目指していきたいと考えています。

また、「せんせいはわたしたちのいけんをきいてそうだんにのってくれる。」でも、昨年と同等の結果が得られました。一方で、「じゅぎょうでよくてをあげる。」では、肯定的回答が9%を下回る結果となりました。この2項目については、学習環境に関わってくる項目でもあると考えます。今後は一層、豊かな人間関係の中で安心して暮らせる学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。

「うんどうかいやえんそくなどのがっこうぎょうじはたのしい。」の項目については、昨年度より肯定的回答が10%を下回りました。運動会や音楽会、遠足などの行事は今年度実施することができましたが、コロナ禍の状況を鑑みながら各学年での開催となるなど制約の多いものであったことがこの結果につながったとも予想されます。今後もコロナ対策をしっかりと実施しながら、学校行事の充実を図っていききたいと考えています。

## 中学年 回答数272(無回答含む)

### ○結果

全体の概要として全15項目のうち、13項目については「概ね満足している」という回答がありました。回答値が90%を超える項目もあり、昨年度よりポイントが増加しているのは、「授業で考えをまとめたり、発表することがある。」「学校では、命の大切さや人への思いやりを学習している。」「校長先生の話はわかりやすい。」「学校では事件・地震や火災などがおこったとき、どうしたらいいか学習している。」「授業などでコンピュータなど学習している。」でした。

「先生は、がんばったことをほめてくれる。」「学校には、遊んだり話したりする友だちがいる。」の項目は、昨年度より肯定的回答が下回りました。

### ○考察

「学校へ行くのが楽しい。」「学校には、遊んだり話したりする友だちがいる。」の項目については、昨年度比で肯定的回答が下回っており、今後の改善が必要であると考えます。コロナ禍という厳しい状況ではありますが、ペアトークや少人数での話し合い、学級遊びを積み重ねることで、学校生活を円滑に楽しく過ごしていけるように取り組んでいきたいと思えます。

授業に関する設問では、「授業などでコンピュータなど学習している。」「授業で考えをまとめたり、発表することがある。」の項目については、昨年度比で肯定的回答が大きく上回るものが多く見られました。これらの回答により、授業でアイパッドを用いて円滑に楽しく過ごしていることがわかります。今後も授業の充実を図るとともに、豊かな人間関係の中で安心して暮らせる学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。

「学校では、命の大切さや人への思いやりを学習している」「学校では、事件・地震や火災などがおこったときどうしたらいいか学習している」の項目では、昨年度に比べて肯定的回答が1～2%減少と下回っており、今後もより一層、道徳的教育や防災知識の学習に取り組んでいきたいと考えています。

## 高学年 回答数160(無回答含む)

### ○結果

全体の概要として全15項目のうち、13項目については「概ね満足している」という回答がありました。90%を超える肯定的回答の項目は、「授業でわからないとき、先生や友達に聞ける。」「学校では命の大切さや、人への思いやりを学習している」「学校では、事件・地震や火災などがおこったとき、どうしたらいいか学習している。」「学校には、遊んだり話したりする友だちがいる。」「授業などでコンピュータなど学習している。」でした。また、昨年度より肯定的回答が上回った項目は、3項目ありました。昨年度より、肯定的な評価が低かった項目は、「運動会や遠足などの学校行事は楽しい。」「学校や社会のルールについて学習している。」の項目でした。

### ○考察

「学校では命の大切さや、人への思いやりを学習している。」「学校では、事件・地震や火災などがおこったとき、どうしたらいいか学習している。」の項目では、90%を超える肯定的回答でした。これらの回答により児童の道徳心や防災意識がしっかりと定着していることがわかります。今後もより一層、道徳的教育や防災知識の学習に取り組んでいきたいと考えています。

しかしながら、授業に関する設問では、「授業は、わかりやすく楽しい。」「授業がわからないとき、先生や友達に聞ける。」の項目が昨年度より肯定的回答が下回っています。コロナ禍においてなかなか話し合い活動ができないことなどが関係していると考えられます。今般のコロナ禍の状況を鑑みて、iPadを活用した授業や、制限が多くありますが、ペアトークや少人数での話し合い活動などを通して質問をしやすい環境づくりをしていきます。

今後も、高学年として「わかりやすい授業」「分かなさの共有ができる授業」をめざした教育活動の展開や、iPadを活用した授業の展開を研究し、より一層の工夫を進めていきます。この学校アンケートは、児童（低・中・高別）・保護者・教職員からのアンケート結果から、学校としての課題を整理し、結果を考察し、今後の教育活動・学校運営に活かすためのものです。

回答していただいた皆様の声を大事にしなが、ら、「子どもたちのために」教育活動を展開してまいります。

また、学校の状況や教育に関する情報は、学校・学年だより、学校ホームページ・ブログなどを利用しながら、日々の子どもの様子や学校の取組について、お伝えしていきます。

今後とも、保護者の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。